

Tone King

SkyKing

取扱説明書



正規輸入代理店

@uanta Intl.

ビルダーからのコメント

トーンキングのギターアンプ "Sky King" をお選びいただきありがとうございます。このアンプは、本物のビンテージ・ギター・トーンをより深く追求したいという思いから生まれました。スティーブ・クロツパー、ジョー・メイブス、ロイ・ブキャナン、あるいは象徴的なヴィンテージ・アメリカン・ギター・サウンドを定義するあらゆるプレイヤーのトーンを追い求めているのであれば、Sky Kingはあなたをそこに導いてくれるでしょう。その豊富な機能にもかかわらず、Sky Kingは非常にシンプルな操作性で、素晴らしいトーンに溢れています。

Sky Kingは、カリフォルニア州コマースにあるBoutique Amps Distributionの優れた製作チームによって手作業で製作されています。このクルーは最高水準の品質で作業し、すべてのTone Kingアンプが正確に製造されるよう、製造のすべての段階で厳しい精査と検証が行われています。

安全について 取扱説明書

この取扱説明書は、今後の参照用として、またこのTone King アンプの所有期間中、大切に保管してください。新しいアンプをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解ください。この取扱説明書には、アンプの使用とメンテナンスに関する重要な安全情報が記載されています。この取扱説明書に記載されているすべての警告記号や標識、そしてアンプ本体に印刷されている警告記号や標識に特に注意してください。



火災や感電を防ぐため、アンプを水や湿気にさらさないでください。
水源の近くで使用しないでください。



矢印の三角マークが付いた稲妻は、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」が存在することを警告するためのもので、感電の危険を構成するのに十分な大きさである可能性があります。



感嘆符のような三角形のシンボルは、このアンプに付属のユーザーマニュアルに重要な操作とメンテナンス（整備）の指示があることを警告するためのものです

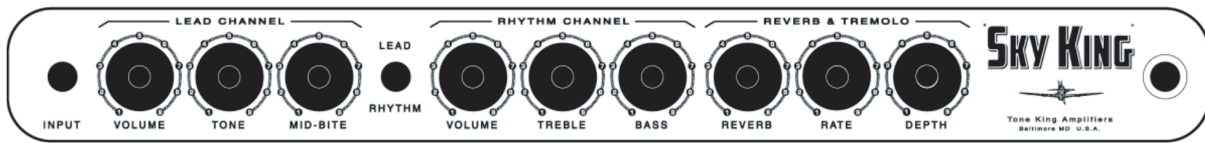
- 1 説明書を読む - 本製品を操作する前に、すべての安全および操作説明書をお読みください。
- 2 取扱説明書の保管 - 安全および取扱説明書は、将来参照できるように保管してください
- 3 警告にご注意ください - アンプや取扱説明書に記載されている警告は、すべて守ってください。
- 4 指示に従ってください - すべての操作および使用上の指示に従ってください
- 5 水と湿気 - アンプは、バスタブ、洗面器、キッチンシンク、洗濯槽、濡れた地下室、プールの近くなど、水の近くでは使用しないでください。

- 6 カートとスタンド - アンプは、メーカーが推奨するカートまたはスタンドと組み合わせてのみ使用してください。アンプとカートの組み合わせは、注意して移動してください。急停止、過度な力、凹凸のある場所などでは、アンプとカートの組み合わせが転倒する恐れがあります。
- 7 壁または天井取り付け - 製品は絶対に壁や天井に取り付けしないでください。
- 8 熱 - アンプは、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、熱を発生する他のアンプ（アンプを含む）などの熱源から離れた場所に設置してください。
- 9 電源 - 本製品は、定格ラベルに記載されているタイプの電源からのみ操作してください。ご自宅への電源供給が不明な場合は、製品販売店または最寄りの電力会社にご相談ください。
- 10 接地または極性 - 本製品には、極性交流ラインプラグ（片方の刃がもう片方より太いプラグ）が使用されている場合があります。このプラグはコンセントに一方にしか入りません。これは安全機能です。プラグをコンセントに完全に差し込めない場合は、プラグを逆にしてみてください。それでもプラグが入らない場合は、電気技術者に連絡して、古くなったコンセントを交換してください。極性プラグの安全目的を破らないでください。
- 11 電源コード保護 - 電源コードは、プラグや便利なレセプタクルに対応するコードや、アンプから出るコードに特に注意し、その上に物を置いたり立てかけたりして歩いたり挟んだりしないように配線してください。
- 12 クリーニング - アンプのクリーニングは、メーカーが推奨する方法でのみ行ってください。水で少し湿らせた布で拭いてください。アンプ内部に水が入らないようにしてください。
- 13 不使用期間 - 長期間使用しない場合は、アンプの電源コードをコンセントから抜いてください。
- 14 物体と液体の進入 - 物が落下したり、開口部から液体が筐体内にこぼれたりしないように注意すること。
- 15 サービスを必要とする損傷 -
以下のような場合は、資格のあるサービス担当者にアンプの修理を依頼してください：
 - A. 電源コードまたはプラグが損傷している。
 - B. 物が落下した、または液体がアンプにこぼれた。
 - C. アンプが雨にさらされた。
 - D. アンプが正常に動作しない、または性能に著しい変化が見られる。
 - E. アンプを落としたり、筐体が破損した。
 - F. アンプに真空管の交換またはバイアスが必要
- 16 修理 - 使用者は、取扱説明書に記載されている以上の修理をアンプに対して行わないでください。その他の整備はすべて、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 17 換気 - キャビネットのスロットと開口部は、換気のために設けられ、製品の信頼性の高い動作と過熱からの保護を保証します。開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。ベッド、ソファ、敷物などの上に製品を置いて開口部を塞いではなりません。本製品は、本棚やラックなどの作り付けの場所に設置しないでください。
- 18 アタッチメント - 製品メーカーが推奨していないアタッチメントは危険ですので使用しないでください。
- 19 付属品 - 不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルの上に本製品を置かないでください。製品が落下し、子供や大人が重傷を負ったり、製品に重大な損傷を与えたりする恐れがあります。
- 20 雷 - 雷雨の前や、長期間使用せずに放置する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。これにより、雷や電源サージによる製品の損傷を防ぐことができます。
- 21 交換部品 - 交換部品が必要な場合、サービス技術者がメーカー指定の交換部品を使用しているか、元の部品と同じ特性を持っていることを確認してください。無許可の代用品は、火災、感電、その他の危険を招く恐れがあります。
- 22 全チェック - 本製品のサービスまたは修理が完了したら、サービス技術者に安全チェックを依頼し、製品が適切な動作状態にあることを確認してください。
- 23 ヒューズ - リアパネルに表示されている正しい定格とタイプのヒューズを必ず使用してください。適切な定格ヒューズは、本機を使用する国の AC ライン電圧によって決まります。

取扱説明書 目次

1	フロントパネル・コントロール	4
	リードとリズムの2チャンネル	4
	リズム・チャンネル	4
	リード・チャンネル	5
	リバーブ	5
	トレモロ (レート&デプス)	6
2	バックパネル・コントロール	6
	AC電源	6
	ヒューズ	6
	電源スイッチ、スタンバイスイッチ	6
	フットスイッチ	6
	出力モード	7
	アッテネートコントロール	7
	アッテネーター使用上の注意	8
3	チューブの取付と交換	8
	チューブの種類とブランドの選択	8
	チューブの取り付け	8
	出力管の交換	8
4	保証	9
5	CE宣言	10

1 フロントパネル・コントロール



リードとリズムの2チャンネル

Sky Kingには2つの独立したプリアンプ・チャンネルがあり、それぞれが独自のヴォイシングを持っています。フロントパネルの "Lead/-Rhythm" スイッチ、またはフットスイッチの "Channel" スイッチでチャンネルを切り替えることができます。フットスイッチを使用する場合は、フロントパネルのスイッチを "Rhythm" のポジションにしてください。フットスイッチのLEDは、選択されているチャンネルを示します。LEDが点灯している場合、リード・チャンネルが選択されています。LEDが点灯していない場合は、リズム・チャンネルが選択されています。

リズム・チャンネル

Rhythmチャンネルには、Volume、Treble、Bassのコントロールがあります。このチャンネルは、「1960年代のヴィンテージ・クリーン・トーン」、つまり当時のカリフォルニアで製造された有名ブランドのアンプから連想されるようなトーンを提供するように設計されています。このトーンの特徴は、鮮明で存在感のあるトップエンド、わずかに「スクープ」されたミッドレンジ、ふくよかなボトムエンドです。後述しますが、この一般的なタイプのトーンは、バックパネルの「Mode」スイッチの設定によって、2つの異なる風味を帯びます。Pentodeモードは、このタイプの本物のビンテージ・アンプに期待されるサウンドとレスポンスが得られ、クリスピーで存在感のあるトップ・エンド、素早いアタック、明瞭で透明感のあるサウンドが得られます。ウルトラ・リニア・モードは、初期のビンテージ・アンプのサウンドを再現します。このモードでは、アタックがソフトになり、深みと奥行きが増して、心地よい "感触" のサウンドが得られます。トップエンドは丸みを帯び、よりスムーズでシルキーになります。ウルトラ・リニア・モードでは、アンプ全体のゲインが大幅に減少します。Volumeコントロールで補正する必要があります。

BassとTrebleのコントロールは、このタイプの本物のビンテージ・アンプと同じように動作します。Sky Kingは、BassとTrebleのどのセッティングでも幅広い音色が得られるという点で少しユニークですが、ここではいくつかのセッティング例をご紹介します：

1960s Clean Tone

Volume	Treble	Bass	Mode (back panel)
3	4	6	Pentode

Old-School Clean Tone

Volume	Treble	Bass	Mode (back panel)
5	5	6	Ultra linear

リード・チャンネル

リード・チャンネルはTweedスタイルのプリアンプからスタートし、トーンキング独自の機能であるミッドバイト・コントロールを中心に構築された独自のトーン・シェイピング回路をドライブする。

この独自の回路は、ミッドバイト・コントロールを上げるにつれて、ベーシックなツイード・トーンをよりクランチーなロック・トーンへと変化させます。これは、低域をタイトにし、超高域をロールオフし、ゲインを上げ、アッパー・ミッドレンジのピークを強調することで同時に達成されます。ミッドバイト・コントロールは、リード・チャンネルのサウンドを自分好みに調整するための鍵なので、1から9まで回してその効果を観察してみてください。

バックパネルにある "Mode "スイッチの設定は、リード・チャンネルのアンプのトーンとフィールに大きな影響を与えます。Pentodeモードでは、アンプはよりブライトでエッジが立ち、タイトでパーカッシブなレスポンスになります。ウルトラ・リニア・モードでは、オーバードライブがたくシロップのようになり、より弾力性のあるフィールになります。リズム・チャンネルと同様、ウルトラ・リニア・モードではアンプ全体のゲインが大幅に減少します。Volumeコントロールで補正する必要があります。

アッテネーターを使ってリード・チャンネルの音量を下げると、小音量時と大音量時ではスピーカーの動作が異なることに気づくでしょう。小音量では、ディストーション・トーンを滑らかにして丸くするスピーカーのブレイクアップとコンプレッションの恩恵が得られません。これを補う良い方法は、非常に小さい音量までアッテネートする際にウルトラ・リニア・モードを使用することです。

以下は、Leadチャンネルで使用可能な音色のほんの一部を示すサンプル・セッティングです：

Old Style Tweed Clean

Mode	Volume	Tone	Mid-Bite
Ultra linear	4	5	1

Cranked Tweed

Mode	Volume	Tone	Mid-Bite
Pentode	5	4	1.5

Rock Grind

Mode	Volume	Tone	Mid-Bite
Pentode	7	5	6

Thick, Chunky Mids

Mode	Volume	Tone	Mid-Bite
Ultra linear	7	5	9

リバーブ

Sky Kingには2スプリング、チューブ駆動のリバーブ回路が内蔵されている。リバーブはリズム・チャンネルとリード・チャンネルの両方に適用されます。リード・チャンネルの高いゲインを補うため、リード・チャンネルのリバーブ・ドライブはわずかに減少しています。このリダクションは、プリアンプチャンネルを切り替える際にリバーブレベルを合わせるのに役立ちます。これは、Lead チャンネルがハードにドライブされ、Rhythm チャンネルがクリーントーンに設定されている場合に便利です。

リバーブ・レベルは、フロント・パネルのReverbコントロールでコントロールします。このコントロールは、信号経路にミックスされるリバーブ信号の量を調整します。

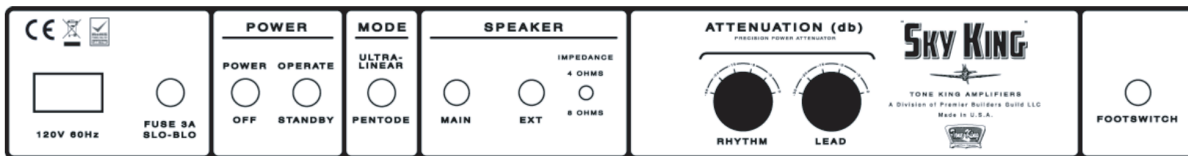
トレモロ (レート&デプス)

Sky Kingのトレモロ回路は、昔ながらの "バイアス変調" トレモロ回路を改良したものである。この回路は、出力管のバイアスを変化させることでトレモロ効果を実現している。このタイプのトレモロは、1993年までさかのぼるすべてのトーンキングアンプに採用されていたが、Sky Kingではこの回路を改良したものを使用しており、一般的に聴かれるノイズやその他の音響効果をほぼ排除しています。

このタイプのトレモロ回路は、きれいな丸みを帯びたエフェクトを与えるが、オプトカプラ・トレモロと比べると好みは分かれる所です。Depth "コントロールはモジュレーション効果の強さを変化させ、"Rate "ノブはエフェクトのスピードをコントロールします。

フットスイッチを使用しない場合、トレモロ回路は常にアクティブです。エフェクトをミュートするには、"Depth "ノブを絞り切ります。フットスイッチを接続すると、フットスイッチでトレモロのオン/オフを切り替えることができます。フットスイッチのLEDがエフェクトの状態を表示します (LED点灯=トレモロ・オン)。

2 バックパネル・コントロール



AC電源

必ずアース付きのACコードを使用し、アンプに適切なアースが接続されていることを確認してください。アンプへのアース接続を持ち上げたり、壊したりしないでください。

ヒューズ

標準的な 3A Slo-bloヒューズ (スタイル 3AG) を使用してください。

電源スイッチ、スタンバイスイッチ

アンプの電源を入れるときは、まずパワースイッチとスタンバイスイッチの両方を「オフ」の位置にしてください。まず、電源スイッチをオンにします。真空管フィラメントと低電圧回路にのみ電圧がかかります。電源スイッチを入れた後、真空管を約1分間温め、スタンバイスイッチを入れます。パワーダウンの順番は、パワーアップの順番ほど重要ではありません。アンプの電源を切る場合、スタンバイの前に電源を切るか、スタンバイを電源の前に切るか、あるいは両方を同時に切ることができます。

フットスイッチ

フットスイッチとアンプを付属のケーブル、または標準的な ¼" TRS (ステレオ) -to ¼" TRS (ステレオ) ケーブルで接続します。フットスイッチで、プリアンプ・チャンネルの選択とトレモロのオン/オフの両方を操作できます。

LEDは、現在のスイッチング・ステータスを以下のように表示します：

チャンネル・スイッチLED 点灯 = リード・チャンネル

トレモロ・スイッチ: LEDオン = トレモロ・オン

フットスイッチを使用する際は、必ずフロントパネルのChannelスイッチをRhythmポジションにセットしてください。

出力モード

出力管の動作モードを選択するスイッチです。前のセクションでリズム・チャンネルとリード・チャンネルについて説明したように、この2つのモードは明らかに異なる感触とトーンを与えます。それぞれの動作モードの特質を理解し、理解することが重要であり、それがSky Kingの多彩な音色の鍵となります。以下、各モードの簡単な説明です：

ペントード・モード

現在、そして過去に作られたほとんどの真空管アンプは、出力管が5極管モードで配線されています。このモードでは、スクリーン・グリッドに、プレート電圧とほぼ同じフィルターされた電源電圧が供給されます。このモードで動作する真空管の音と感触は、よく知られているはずで、一般的に、このモードでは、アタックが速く、パーカッシブなレスポンスがあり、鮮明で存在感のあるサウンドが得られます。

ウルトラ・リニア・モード

ウルトラ・リニア・モードで配線された出力管は、一般的なギター・アンプではほんの一握りです。このモードでは、スクリーン・グリッドが出力トランスの1次側のタップに接続されます。この方法で配線された真空管は、5極管モードとほぼ同レベルのパワーを発生できますが、3極管モードで配線した場合のようなユニークなサウンドとレスポンスを生み出します（ただし、3極管モードでは出力パワーが低下します）。低次の倍音がより豊かなサウンドです。ミッドレンジが厚く、トップエンドが甘く丸みを帯びた、よりオールドスクールなサウンドです。また、アンプにソフトで弾力性のある感触を与え、演奏する喜びを感じさせてくれることにお気づきでしょう。

ウルトラ・リニア・モードでは、アンプのゲインが大幅に減少することに気づきます。モードを切り替える際には、プリアンプのボリューム・コントロールを調整して補正する必要があります。

モードを切り替えると、スピーカーから大きな破裂音が聞こえます。これは仕様上まったく問題ありませんが、大きな破裂音を聞きたくない場合は、モード設定を変更する前にスタンバイモードに切り替えるとよいでしょう。

アッテネートコントロール

Sky Kingには、デュアル・アッテネーション・コントロールを備えた精密アッテネーターIronmanが内蔵されています。これにより、出力管をフルパワーで動作させながらアンプのボリューム・レベルを下げることができ、自然なパワー管のオーバードライブやディストーションが得られます。このアッテネーターは、トランス・カップリングと精密にチューニングされたリアクティブ・ロードを使用しており、非常に小さな音量でもアンプの自然なトーンとフィーリングを保つことができます。

これは、高い評価を得ているIronmanスタンドアロンアッテネーターと同じ一般的なアプローチです。

オーバードライブ・トーンや歪んだトーンをロー・ボリュームとして生成するためには、様々なアプローチがあります。マスター・ボリューム回路や、London Power Scalingのようなパワー・リダクション・スキームは、どちらも他ブランドの様々なアンプ・モデルで使用され、成功を収めています。しかし、Sky Kingが実現するよう設計された、よりヴィンテージ・サウンドのトーンには、内蔵のIronmanのような良質なアッテネーターが、非常に小さな音量でもトーンとフィーリングを維持する最良の方法です。

アッテネーターは、スピーカーに送られる信号のレベルを決定しますが、アンプの出力段自体の動作には影響を与えません（厳密に言えばそうではありません）。アッテネーターは、スピーカーに送られずに出力管で発生した余分なパワーを吸収し、消散させます。

アッテネーター回路はアンプ出力とスピーカージャックの間にあり、外部アッテネーターと同じように接続されます。

Ironmanのこのバリエーションは、2つの独立したアッテネーション・コントロールを備えており、リズム・チャンネルとリード・チャンネルの出力レベルを個別に設定できます。

アッテネーター使用上の注意

Ironmanのアッテネーターは、アンプ回路のトーンを変えずに出力パワーを下げるという、可能な限り最高の仕事をしてくれますが、小音量では他の変数が作用し、その結果、明らかにトーンが変化することがあります。以下に、注意すべき要因をいくつか挙げます。

スピーカーのブレイクアップとコンプレッションは、大音量で鳴らしたときのアンプのトーンとフィーリングに大きく影響します。低出力設定では、スピーカーの反応は異なり、高出力時のようなブレイクアップやコンプレッションは起こりません。

耳の自然な反応曲線は音量レベルによって変化するため、音量レベルによって音の感じ方が変わります。静かな音は、低音成分が少ない印象を与えがちです。

音量が小さいと、アンプを大音量でチューニングした場合よりも、ギターを強く叩き、よりアグレッシブに演奏する傾向があります。音量を下げて自分の演奏スタイルを維持できるようにするには、慣れるまで時間がかかるかもしれません。

2 チューブの取付と交換

チューブの種類とブランドの選択



No.	タイプ	機能
V1	12AX7/ECC83	ステージ1 (リズム+リード)、ステージ2 (リード)
V2	12AX7/ECC83	ステージ2 (リズム)、ステージ3 (リード)
V3	12AX7	リバーブドライバー
V4	12AX7/ECC83	リバーブ・レシーバー
V5	12AX7/ECC83	フェーズインバーター
V6-7	6L6	出力管
V8	GZ34	整流器

チューブの取り付け

真空管を取り付ける際、アンプをテーブルの上に置き（スピーカーは地面を向いています）、アンプの背面を直接ライトで照らすと、真空管の位置が分かりやすいでしょう。真空管は正しい向きで取り付けなければなりません。小型のオールガラス管は、ピンのリングに空白があり、シャーシにある真空管ソケットの真空管ピンのリングの空白と一致しなければなりません。ベークライト・ベースの大型チューブは、チューブ・ピンのリングの中央に割り出しキーの付いた小さなシリンダーがあり、この割り出しキーは、シャーシ上のソケットの対応するスロットに合わせなければならない。

出力管の交換

Sky Kingの出力段は完全にカソードバイアスされており、出力管を交換する際にバイアス調整は必要ありません。Sky Kingの出力段の設計は、真空管特性のばらつきに対してかなりのマージンを持たせているため、既知のどのブランドの6L6でも取り付けことができ、適切に動作し、適切に自己バイアスされます。

8 保証

ToneKingをお選びいただきありがとうございます。ToneKingは、世界有数の最も信頼性の高いハンドワイヤリング・オールチューブ・アンプとスピーカー・キャビネットです。当社は、出荷前に各製品に対して徹底的なテストを実施しています。万が一、アンプに問題が発生した場合は、別紙の保証書をご参照ください。

アンプ

Tone Kingの保証を利用するには、購入証明書を保管してください。本保証は、事故、怠慢、乱用、通常および摩耗、災害、誤用、乱用、過度のパワーアップ、過失、不適切な梱包または発送手順、Tone Kingが書面で承認または承認していないサービス、修理、製品への改造によって生じた損傷を修理するためのサービスや部品には適用されません。**アンプの改造は保証を無効にします。**本製品が上記の保証のとおり材料または製造上の欠陥がある場合、修理または交換となります。

**注意：ご自身でアンプの修理、改造、サービスを行わないでください！
すべての安全に関する通知、警告、指示については、取扱説明書をお読みください**

他の真空管アンプと同様、Tone Kingにも非常に高い電圧がかかっています。アンプからシャーシを取り外さないでください。すべての修理およびサービス作業は、販売店を通して代理店の許可の元、行って下さい。許可なく修理を行った場合、保証は無効となります。

チューブ

Tone Kingは、Tone Kingに使用されている特定のチューブが、購入日から90日間、材質および製造上の欠陥がないことを、最初の購入者に保証します。日付入りの販売レシートがあれば、この保証の適用範囲となります。この真空管保証は、最初の小売販売日から90日後に自動的に終了します。この真空管保証は、他のすべての明示的な保証に代わるものです。90日間の保証期間内に真空管が故障した場合、販売店へ連絡の元交換または修理を行って下さい

偶発的または結果的損害

Tone Kingは、いかなる場合においても、Tone King製品の使用または使用不能から生じる偶発的または派生的損害について、たとえTone Kingのディーラーがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、あるいは他のいかなる当事者によるその他の請求についても責任を負いません。

ToneKingを選んでいただき、ありがとうございます！



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>

9 CE宣言

Premier Builders Guild, LLC
201 S. Highland Avenue, Suite 204
Pittsburgh, PA 15206
412-362-0309



DECLARATION OF CONFORMITY Report #R070212

We, Premier Builders Guild, in coordination with CES Laboratories, declare, taking this declaration under our total responsibility, that the below models are in conformity with the provisions of the following EC Directive(s) when installed in accordance with the installation instructions contained in the product documentation:

2006/95/EEC Low Voltage Directive
2004/108/EEC EMC Directive
2011/65/EEC RoHS-Directive

And that the standards and/or technical specifications have been applied to the following families of products:

	Imperial	Metropolitan
	Galaxy	Falcon
	Sky King	Royalist
	Imperial MK II	Falcon Grande
Manufacturer/Importer	Ironman II Mini	Gremlin

Date: 8/25/2015

Signature: *Christopher W. Fleming*

Name and Title: *Christopher W. Fleming*
V.P. PROJECT ENGINEERING

Approved By:
Chandra Garudachar
President
CES LABORATORIES

Prepared By:
Jyotsna Bedi
23361 Cypress Pt
Mission Viejo, CA 92692